

ホタテガイ採苗速報

成熟は全湾で早めに進んでいます

平成31年1月20日～23日に湾内6地点で養殖2年貝の成熟度調査を、1月18日に東湾1地点で地まき貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均、東湾平均、全湾平均でそれぞれ23.8、23.3、23.6と平年値（平成5～30年の同時期の平均値）それぞれ16.6、21.0、18.7より高い状況となっています（図1～2）。異常貝率は、西湾平均で42.5%、東湾平均で10.0%と平年値（それぞれ5.8%、2.8%）よりもかなり高い状況です。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、14.2と平年値（14.6）とほぼ同じく（図3）、異常貝率は3.3%でした。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果（調査基準日 1月20日）

調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数	異常貝率 (%)
蓬田村	1月22日	10.5	112.4	51.1	45.4	10.3	20.0 (7.7)
青森市奥内	1月22日	10.4	136.9	51.5	37.5	14.6	28.0 (17.3)
久栗坂実験漁場	1月23日	11.5	174.3	80.7	46.2	20.4	25.2 (18.9)
平内町浦田	1月20日	10.2	102.4	46.4	45.3	10.1	21.9 (14.7)
西湾平均		10.7	131.5	57.4	43.6	13.9	23.8 (16.6)
野辺地町	1月20日	10.7	143.8	68.3	47.5	17.5	25.3 (23.3)
むつ市	欠測						
むつ市川内町	欠測						
川内実験漁場	1月23日	10.6	136.6	62.4	45.6	13.4	21.3 (22.0)
東湾平均		10.7	140.2	65.4	46.6	15.4	23.3 (21.0)
全湾平均		10.7	134.4	60.1	44.6	14.4	23.6 (18.7)

表2 地まき貝の測定結果（調査基準日 1月20日）

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数	異常貝率 (%)
むつ市	1月18日	9.7	91.8	41.8	45.4	6.1	14.2 (15.6)	3.3 (1.1)
むつ市川内町	欠測							
東湾平均		9.7	91.8	41.8	45.4	6.1	14.2 (14.6)	3.3 (1.5)

2 海況

各ブイの1月18日～24日の週別平均水温は表3のとおりです。15m層の1月第5半旬平均水温は、平館ブイで平年並み、青森ブイ、東湾ブイでやや低めとなっています。

表3 各ブイの1週間(1/18～1/24)の日平均水温

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	9.2～9.8	東田沢ブイ	－	浜奥内ブイ	3.2～3.5
蓬田ブイ	－	清水川ブイ	－	川内ブイ	4.5～4.9
奥内ブイ	7.3～7.7	野辺地ブイ	－	脇野沢ブイ	－
青森ブイ	6.9～7.0	東湾ブイ	4.6～4.8		
浦田ブイ	－	横浜ブイ	4.2～4.3		

－：メンテナンス中

3 今後の見込み

成熟は西湾、東湾ともに早めに進んでいます。産卵時期及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

なお、貝の大きさは平年並みですが、秋季養殖ホタテガイ実態調査において、全湾で異常貝率が平年より高めとなっています。今後シケが連続するとへい死し、親貝数が減少する恐れがありますので施設を安定させることが重要です。詳しくは、11月30日に発行したホタテガイ養殖管理情報を参考にしてください。

また、秋の稚貝分散時に小型のウミセミが多く見られた地区があります。採苗器投入が早まった場合、目合い1.5～2分の袋の採苗器には小型のウミセミが入り込むので注意が必要です。

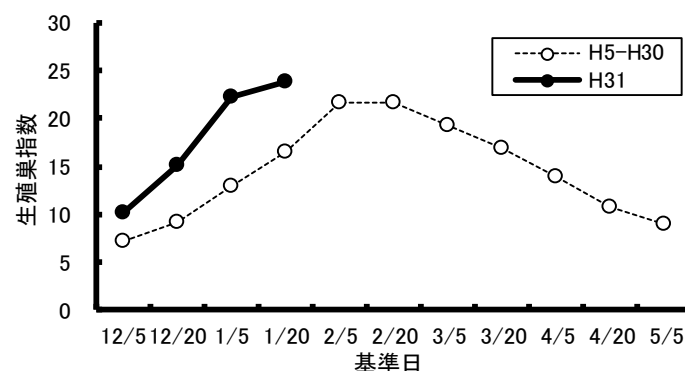


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

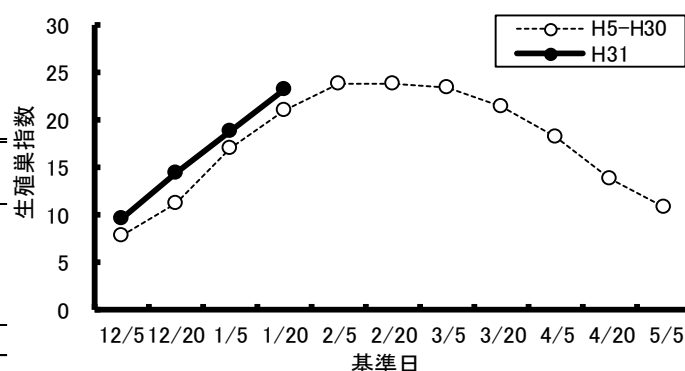


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

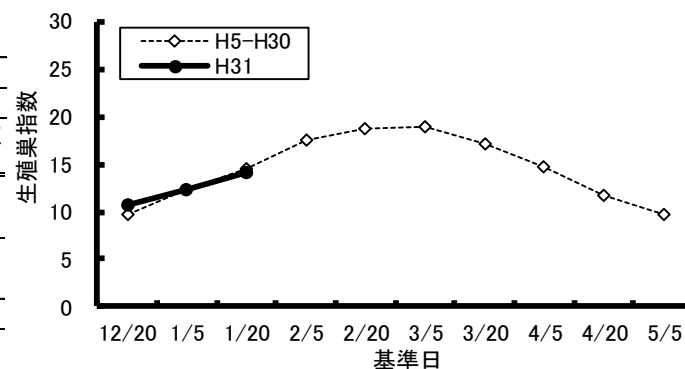


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

広がる海の知識！

身につける新たな技術！ 漁業後継者育成研修『賓陽塾』

塾生募集中！！ 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで



①



②